

事務事業名	介護保険料賦課徴収事務		<input type="checkbox"/> 施設画上の主要事業	法令根拠	介護保険法
政策名	総合計画 07	社会保障システムの充実と健全な運営	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課	介護保険 係(グループ)
施策名	20	介護保険制度の充実	課長名	江口 久子	担当者名 武田 孝憲 (内578)
基本事業名			予算科目	会計 款 項 目 事業 4 1 2 1	介護保険料賦課徴収事務
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 H12 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 65歳以上の第1号被保険者に対し、課税・所得状況を基に保険料段階に応じた介護保険料を賦課する。年金から天引きとなる特別徴収者について、社会保険庁等とのデータ交換と徴収事務処理及び納付書による普通徴収者への納付書発送・口座振替関連事務処理による徴収事務を行う。滞納者に対する督促、保険料過納者への還付事務を実施する。	全体計画 (単位:千円)	
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計 (A)	
	人件費	
正規職員従事人数		
人件費計 (B)		
総計	総計	総計
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細) 16年度実績 特別徴収対象者情報の取得、課税・所得情報取得、老齢福祉年金・生活保護受給者情報取得、保険料賦課決定通知、特別徴収依頼、納付書送付、口座振替管理、消込処理、督促状送付、還付処理 17年度計画 16年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 介護保険の被保険者 = 65歳以上の第1号被保険者 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 介護保険特別会計による財政運営 結果(どんな結果に結び付けるのか) 介護保険財政の適正な運営	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 介護保険料賦課件数 件 イ ウ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 介護保険被保険者数(第1号被保険者数) 人 イ ウ 成果指標 (対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 介護保険料収納率 % イ ウ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 介護保険財政の健全な運営による町民の信頼度 % イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	
投入量	事業費	千円	405	491	628	684			
	特定財源	千円							
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計 (A)	千円	405	491	628	684	0	0	0
	人件費	人	2	2	2	2			
正規職員従事人数	年間			0.4044					
人件費計 (B)	千円	0	0	3,689	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	405	491	4,317	684	0	0	0	
活動指標	件	3782	3883	4033	3910				
対象指標	人	3665	3764	3879	3882				
成果指標	%	99.21	99.23	99.11	99.2				
上位成果指標	%								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 平成12年度の介護保険制度の実施	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 介護保険事業計画の3年毎の見直しに伴い、保険料も改定となり、平成15年度からの第2期事業計画の基準保険料は、200円減額の3,400円となっている。収納率は、13年度99.63%、13年度99.40%、14年度99.21%、15年度99.23%と低下。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 平成12年度の介護保険制度施行から5年を経過しているが、制度の複雑さと制度改正等により、仕組みや保険料について十分な理解が得られていない部分もあることから、保険料の滞納に繋がっている。保険料の決定通知送付後には、保険料に対する苦情が見受けられる。	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由]		3 改革・改善方向の部へ
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由]		3 改革・改善方向の部へ
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由]		3 改革・改善方向の部へ
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] <input type="checkbox"/> 余地がない [理由]		3 改革・改善方向の部へ
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 → 【問題解決策】 → 3 改革・改善方向の部へ		3 改革・改善方向の部へ
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある → (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない → [理由]		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した → 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない → 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】		
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 → 【問題解決策】 → 3 改革・改善方向の部へ		3 改革・改善方向の部へ
効率性 評価	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] →		
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] → <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] →		3 改革・改善方向の部へ

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																						
口座振替の周知拡大、滞納者に対する催告として文書通知を増やす、定期的な広報等による周知	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

制度への理解が十分得られず、将来的に介護の必要性を感じていない。滞納者に対する給付制限等の措置はあるが、現実的には給付を受けていない被保険者には効果がなく、給付制限においては、高齢者の生活に関わる大きな問題となるため、慎重な取扱いが必要となる。